

平成 18 年度試験研究成果書

区分	指導	題名	夏秋トマト雨よけ栽培に適する葉かび病耐病性品種「桃太郎なつみ」の特性		
[要約] 「桃太郎なつみ」は、強い葉かび病耐病性を有する品種である。商品果収量は「桃太郎 8」をやや下回るものの、中段花房の商品果収量は増収する傾向がある。糖度、酸度は「桃太郎 8」よりやや劣るものの、硬度は同等以上となる。花房間長は「桃太郎 8」より短い。					
キーワード	桃太郎なつみ	品種特性	葉かび病耐病性	園芸畑作部	南部園芸研究室 野菜畑作研究

1 背景とねらい

トマト栽培においても、食の安全性への要望に対応した薬剤防除回数の低減や生産場面における安定生産を図るために、重要病害の一つである葉かび病耐病性品種の育成が求められている。本県の雨よけトマト主要品種である「桃太郎 8」は、良食味と多収性が高く評価されているものの葉かび病の耐病性を有せず、耐病性の付与が望まれていた。

昨年、葉かび病耐病性を有する新品種「桃太郎なつみ (T201)」が育成され、県内各産地で本品種を試作した結果、葉かび病耐病性等が評価され、次年度より本格導入を検討する動きがみられている。そこで、産地が導入する際の参考とするため、各栽培方式における品種特性を検証した。

2 成果の内容

(1) 商品果収量、品質

- ア 商品果平均 1 果重は約 170～180 g となり、桃太郎 8 よりやや小さい (表 1)。
- イ 商品果個数は、桃太郎 8 とほぼ同等またはやや上回るものの、商品果 1 個重量は桃太郎 8 より小さく、商品果収量は桃太郎 8 をやや下回る (表 1)。
- ウ 上位規格品率は 19%～23% 程度で、桃太郎 8 をやや下回る (表 2)。
- エ 地床栽培では 5～7 段、不織布ポット栽培では 5～6 段花房で増収し、中段花房の商品果収量は桃太郎 8 より優る傾向となる (図 1)。

(2) 果実品質

- ア 果長 / 果径比は 0.81 となり、桃太郎 8 とほぼ同等の果形である。
- イ 桃太郎 8 より糖度はやや低く、酸度が高い。硬度は同等かやや硬い (表 3)。

(3) 生育特性

- ア 平均花房間長は桃太郎 8 より約 2 cm 短く、つる下げ作業の省力化につながる (図 2)。
- イ 桃太郎 8 に比較して、強い葉かび病耐病性を示す (図 3)。

3 成果活用上の留意事項

- (1) 第 1 段花房の着生位置が桃太郎 8 より低くなりやすいので、育苗期の温度管理は低温にならないよう温度確保に努める。
- (2) 低段花房の果実は、花痕部が大きくなりやすいので、育苗期から定植後の保温に努め、定植後初期の草勢が強勢にならないように管理する。また、初期の草勢が急激に強くなると芯止まり症状が発生しやすくなるので、肥培管理に留意する。
- (3) 空洞果の発生はやや少ないものの、裂果の発生がやや多いので、かん水管理やハウス内環境の改善に努める (表 2)。
- (4) 元肥を施用せず生育に合わせて液肥をかん水する不織布ポット栽培では、かん水量を桃太郎 8 より多めに管理する。同様に、地床栽培でも桃太郎 8 よりかん水量を多めにする。

4 成果の活用方法等

(1) 適用地帯又は対象者等

雨よけトマト (地床栽培、ポット栽培) 産地の普及センター、JA 等の指導担当者

(2) 期待する活用効果

産地が本品種の導入を検討する際の参考となる。また、導入後の適正な栽培管理の目安となる。

5 当該事項に係る試験研究課題

(H17 - 39) 高品質・高付加価値トマトの生産供給技術確立 (H17～18 年、令達)

6 参考資料・文献

H17、H18 年度試験成績書 園芸畑作部南部園芸研究室 (未定稿)

7 試験成績の概要（具体的なデータ）

表1 商品果収量

区	総収量 (kg/a)	商品果							
		収量(kg/a)	対比	個数(個/a)	対比	商品果率(個数%)	1個重量(g)	対比	
H17 桃太郎なつみ	1116.7	902.6	99	5320.8	106	70.4	169.6	93	
地床 桃太郎8	1172.9	913.1	(100)	5011.5	(100)	64.1	182.2	(100)	
H18 桃太郎なつみ	1852.0	1547.9	96	8700.1	102	80.8	177.9	94	
地床 桃太郎8	1971.4	1615.2	(100)	8517.1	(100)	79.4	189.6	(100)	
H18 桃太郎なつみ	1104.5	756.0	95	4407.4	101	64.0	171.6	94	
ポット 桃太郎8	1154.7	795.5	(100)	4373.6	(100)	64.3	181.9	(100)	

総収量：収穫した果実全て（出荷不能の障害果等を含む） 商品果：県青果物出荷規格 A・B品のLL～SS
 地床（陸前高田市） H17年：3月22日播種、5月17日定植、H18年：2月27日播種、4月28日定植
 ポット（北上市） H18年：3月20日播種、5月26日定植

表2 商品果個数割合(%)

区	A品					B品	上位規格品	規格外品	障害・病虫害被果	左のうち	
	LL	L	M	S	SS					空洞果	裂果
H17 桃太郎なつみ	0.4	9.2	13.5	23.6	22.9	0.8	23.1	13.9	15.8	0.6	2.5
地床 桃太郎8	1.9	13.5	14.2	14.9	18.0	1.5	29.6	16.1	19.7	1.7	2.5
H18 桃太郎なつみ	0.7	9.0	12.0	23.8	21.9	13.4	21.7	7.2	19.2	1.4	10.6
地床 桃太郎8	1.6	11.7	17.0	17.2	13.2	18.6	30.4	4.1	20.6	6.3	7.4
H18 桃太郎なつみ	0.5	6.3	12.5	17.2	16.8	10.7	19.2	10.5	25.5	1.0	13.0
ポット 桃太郎8	2.7	9.5	15.8	14.5	12.2	9.5	28.1	10.4	25.3	9.0	7.0

商品果規格区分 LL：281g以上 L：211～280g M：181～210g S：151～180g SS：121～150g
 上位規格品 A品M級以上

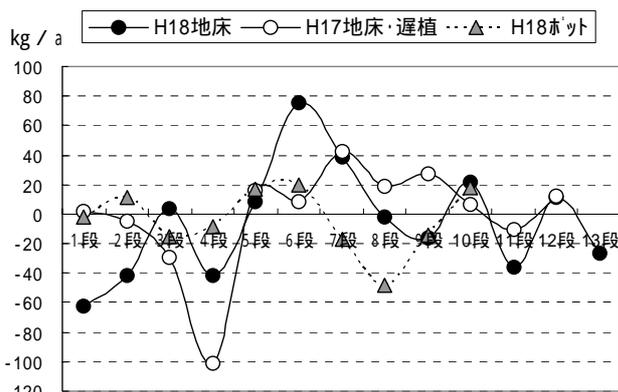


図1 花房別商品果収量の較差（基準：桃太郎8）

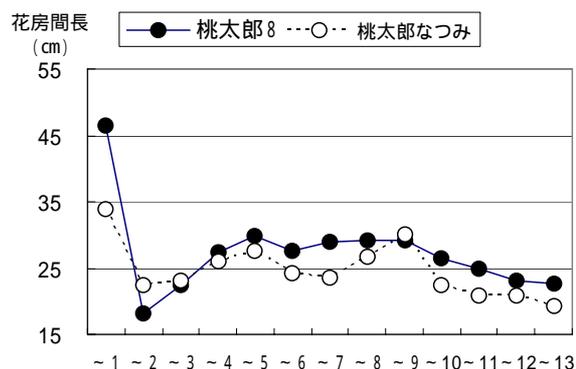


図2 花房間長の推移（H18地床）

表3 果実の糖度・酸度・硬度

区	糖度(Brix %)			滴定酸(%)			硬度 *1		
	H17地床	H18地床	H18ポット	H17地床	H18地床	H18ポット	H17地床	H18地床	H18ポット
桃太郎なつみ	5.59	5.43	5.70	0.51	0.63	0.81	0.73	0.76	9.72
桃太郎8	5.88	5.53	5.89	0.46	0.48	0.70	0.75	0.69	8.67

糖度：アコテシ列糖度計により測定
 硬度：地床の単位はkg/2mm、ポットの単位はN/10mm

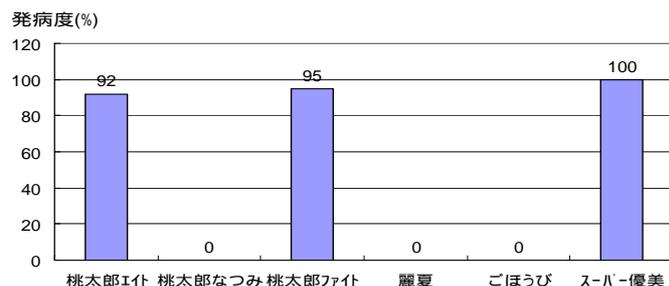


図3 葉かび病発病度(H17地床栽培)

$$\text{発病度}(\%) = \frac{4A + 3B + 2C + D}{4 \times \text{調査葉数}} \times 100$$

発病指数

- A：病斑が葉数の1/2以上を占める
- B：病斑が葉数の1/4～1/2を占める
- C：病斑が葉数の1/4未満を占める
- D：病斑がわずか（数個）に認められる
- E：病斑が認められない

葉かび病は8月14日に初発を確認し、10月3日まで防除を実施した。その後、無防除とし、10月31日に調査した。